

令和 6 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

岐南町地域公共交通活性化協議会 (岐南町)

令和 3 年 1 2 月 1 日設置

令和 4 年 6 月 2 4 日 岐南町地域公共交通計画策定
(計画期間：令和 4 年 6 月～令和 9 年 3 月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

地域概況

町内の公共交通は、名古屋鉄道（名鉄）、岐阜乗合自動車（岐阜バス）、タクシー、町コミュニティバス、町コミュニティタクシー（デマンド型）で構成。

- ▶人口：26,328人（令和6年10月1日現在）
- ▶鉄道：名鉄名古屋本線
- ▶地域間幹線系統：岐阜バス松籟加納線
- ▶フィーダー系統：町コミュニティバス

岐南町地域公共交通計画

基本方針

住み続けられるまちを目指して地域で育てる公共交通

【目標①】

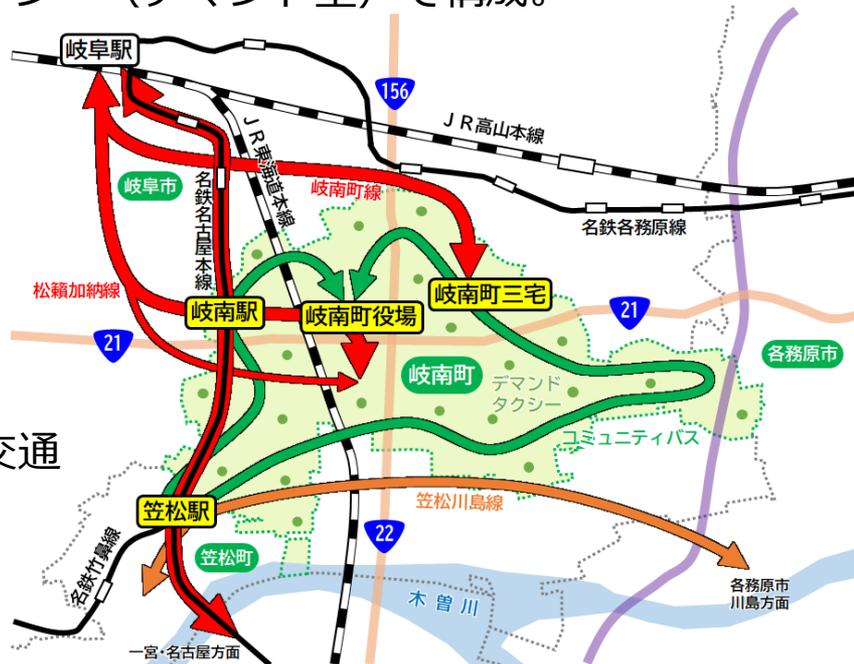
多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築

【目標②】

公共交通の利用拡大

【目標③】

持続可能な公共交通体系の実現

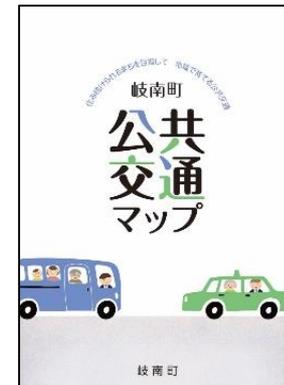


主要な施策

- ▶町コミュニティバスの運行（令和4年9月～）
- ▶町コミュニティタクシーの運行
- ▶公共交通マップの発行
- ▶おためし乗車会の開催
- ▶高齢者アンケートの実施 ※事業見直しに向けて

分類	役割	対象路線
幹線路線 	周辺都市との広域的な都市間移動を促進し、周辺自治体との連携や交流の活性化を図ります	名鉄名古屋本線 岐阜バス岐南町線 松籟加納線
準幹線路線 	周辺自治体との連携や交流の活性化を図ります	岐阜バス笠松川島線
生活交通路線 	町内の暮らしのニーズに対応するとともに、町内各地から鉄道駅や幹線路線バス停留所を連絡し、日常生活における移動を支援します	岐南町コミュニティバス（地域内フィーダー系統） 岐南町コミュニティタクシー
個別輸送 	鉄道・バス・コミュニティタクシーではカバーできない個別需要に対応します	タクシー 福祉輸送
交通結節点 	各交通手段の接続を強化し、多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築を図ります	岐南駅、笠松駅、岐南町役場、岐南町三宅

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
★コミュニティバスの運行 (フィーダー補助受給系統)	コミュニティバスの運行を継続	前年に比べて利用者が34%増加 (8,599人→11,506人)	運賃改定、ICカードの導入拡大、乗車機会を増やす取組などにより、利用が増加。
コミュニティタクシーの運行	デマンド交通の運行を継続	前年に比べて利用者が46%増加 (1,846人→2,691人)	通院の利用が増えており、地域における高齢者の移動手段として定着しつつある。
コミュニティバスの運賃改定	運賃無料の対象に小学生を加えた	子ども運賃の利用者が増加 (7人/月→54人/月)	交通事業者の協力により、子ども・子育て支援を拡充した。小学生を対象としたコミバス乗り方教室を継続する。
コミュニティバスの臨時運行・運賃無料デーの実施	①運行2周年を記念して運賃無料デー(6日間)を実施 ②イベント開催に合わせて運賃無料コミュニティバスを臨時運行	利用者数 ①332人(55人/日) ②ぎなんフェスタ 114人 介護の日フェア 16人	通常の1日あたりに比べると、運賃無料デーの利用者は多い(40人→55人)。この取組は、コミバス事業の広報に効果がある。
公共交通マップの作成・配布	新ダイヤ・運賃改定に合わせてマップを作成し、配布	2,500部作成し、主に転入者に配布 新ダイヤ・運賃改定については、広報紙にも掲載	岐南町は住民異動が多い(転入1,372人/年・転出1,456人/年)まちであるため、運行に変更がなくても、この取組は必要である。



3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

目標	評価指標・目標値（2025年度）		達成状況			考察
			1年目	2年目	3年目	
多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築	年間利用者数（人／年） ※10月～9月	コミュニティバス 29,200人／年	8,599	11,506	—	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるため未達成。
		コミュニティタクシー 1,700人／年	1,846	2,691	—	隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げたことにより目標を達成した。
	公共交通の利用者満足度（%）	コミュニティバス 現況値から10ポイント以上増加 ※現況値81.7%（2023）	現況値が存在しない	未実施	—	コミュニティバス事業については、大幅な見直しを予定しているため、アンケート調査の内容・実施時期等の検討を始めた。
		コミュニティタクシー 現況値から10ポイント以上増加 ※現況値97.1%（2023）	現況値が存在しない	未実施	—	
公共交通の利用拡大	人口1人あたりの年間利用回数（回／年） ※10月～9月	コミュニティバス 1回／年以上	0.33	0.44	—	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるため未達成。
		コミュニティタクシー 0.06回／年以上	0.07	0.10	—	隣接する町の地域医療支援病院にも区域を広げたことにより目標を達成した。
持続可能な公共交通体系の実現	利用者1人あたりの運行経費（円／人） ※10月～9月	コミュニティバス 942円／人以下	3,095	2,340	—	顕著な高齢化の進展を考慮し高く設定した目標値であるため未達成。
		コミュニティタクシー 880円／人以下	1,009	1,044	—	コロナの影響がなくなり平均乗車密度は高くなったが、人件費の増加で、目標を達成しなかった。

満足していると回答した人の割合＝「良い、やや良い、普通」と答えた利用者の割合

【コミュニティバス】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
年間利用者数は現状では未達成であるが、利用者数の増加傾向が続いている。	▶乗車機会を増やす取組（運賃無料デー、イベントに合わせた臨時運行、小学生乗り方教室、コミバスこども美術館等）を引き続き実施する。
利用者満足度を調査するアンケートを実施していない。	▶高齢者の買い物・通院のための利用より、現役世代の通勤・通学のための利用が多い。公共交通全体で事業の見直しが必要。 ▶利用者アンケートだけでなく、幅広い世代の住民が、まちの公共交通のあり方を主体的に考える機会を設ける。
利用者1人あたりの運行経費は現状では未達成であるが、利用者数の増加傾向が続いている。	▶利用者数の増加により運賃収入は増えるの見込まれるが、そのほかの収入増（広告収入や事業所協賛金）にも努める。

【コミュニティタクシー】

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
利用者数・利用回数は既に達成したが、利用者1人あたりの運行経費は未達成である。	▶大幅な人件費の増加により達成が遠のいたが、高齢者の外出支援の観点から利用しやすさを第一に、交通事業者の協力の下、改善に取り組む。 ▶コミバスより利用者が限られるため、さらに広報に努める。

5. 直近2年間の二次評価の活用・対応状況

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針	
前回	コミュニティバスとコミュニティタクシーの組合せなどによるおでかけ確保のあり方に関する調査・分析に取り組むことを期待する。	未対応	事業の主たる目的は高齢者の外出支援であり、住民ニーズとの不一致が生じることのないよう、調査・意見聴取・事業の見直しを進める。	
	通勤・通学の利用ニーズに応える「定期券導入」など、改善や工夫を進めることを期待する。	未対応		
	小・中学生に向けても、利用しやすさを知ってもらえる取組の検討・実施を期待する。	校庭で小学生コミバス乗り方教室を開催した。小学生までのコミバス運賃を無料にした。		引き続き、小・中学校に事業への参加を呼び掛ける。
	地域との協働・共創の下、利用しやすい公共交通の確保維持に取り組むことを期待する。	保育施設や子ども会などがコミバスを使ったイベントを開催することがあれば、役場職員によるレクチャーや、記念品プレゼントを行った。		コミバス車内に子どもたちが描いた絵を展示するなど、愛着を醸成する取組も継続する。
前々回				

※前回：令和6年3月21日、前々回：なし

【計画期間中のスケジュール】

実施項目	2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
施策実施の確認 実施内容の評価 プロセス評価	●事業計画 事業実施		●事業計画		●事業計画		●事業計画		●事業計画	
目標の達成状況の評価 指標の評価	実施状況の確認・評価		反映		反映		反映		反映	
課題共有	実施の課題共有									
改善と反映	次年度実施の改善と反映									

【年間スケジュール】

内容	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通活性化協議会				①							②		
主な行事			確保維持改善事業(補助申請)		利用者アンケート		次年度予算要求				第三者評価委員会(運輸局)		
主な調査等													
実施事項		前年度の事業評価に基づく改善と反映		次年度事業計画の検討				実施状況の確認・評価 今年度事業の検証				課題共有改善検討	

【協議会の開催状況】

- 令和4年度
 第1回会議(書面) 6月24日
 <協議事項>
 (1) 岐南町地域公共交通計画について
 (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
- 第2回会議 7月7日
 <協議事項>
 (1) コミュニティバスの運行について
 (2) コミュニティタクシー停留所の拡充について
- 令和5年度
 第1回会議(書面) 6月26日
 <協議事項>
 (1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画について
 (2) 令和4年度事業報告について
 (3) 令和5年度事業計画について
- 第2回会議 1月11日
 <協議事項>
 (1) コミュニティバス・タクシー事業の評価について
- 令和6年度
 第1回会議 6月18日
 <協議事項>
 (1) 岐南町地域公共交通計画別紙(案)について
 (2) 令和5年度事業報告について
 (3) 令和6年度事業計画について
- 第2回会議 1月20日
 <協議事項>
 (1) コミュニティバス・タクシー事業の評価について

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	岐南町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>岐南町内では、民間路線バスの減便など、公共交通ネットワークの確保維持が厳しい状況にあります。公共交通は地域にとって重要なインフラの一つであり、このような状況の中でも、買い物・通院、通勤・通学等の暮らしのニーズに対応した公共交通ネットワークを構築し、日常生活に必要な移動手段を確保・維持していく必要があるため、地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)により、岐南町コミュニティバスを運行します。</p> <p>岐南町地域公共交通計画では「住み続けられるまちを目指して地域で育てる公共交通」を基本方針に掲げ、「多様なニーズに対応した公共交通ネットワークの構築」「公共交通の利用拡大」「持続可能な公共交通体系の実現」に向けて取り組んでいきます。</p>

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

岐南町地域公共交通計画の評価等結果（令和5年10月～令和6年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
▶コミュニティバス年間利用者数： 29,200人(令和7年度) ▶コミュニティタクシー年間利用者数： 1,700人(令和7年度)	①コミュニティバスの運行 ②コミュニティタクシーの運行	交通事業者からの実績報告	①11,506人／年 ② 2,691人／年	①乗車機会を増やす取組を引き続き実施する。 ②高齢者の利用しやすさ第一に改善に取り組む。	
▶利用者満足度： 現況値(令和5年度)から10ポイント以上の増加	—	—	—	—	
▶コミュニティバス人口1人あたりの年間利用回数： 1回以上(令和7年度) ▶コミュニティタクシー人口1人あたりの年間利用回数： 0.06回以上(令和7年度)	①コミュニティバスの運行 ②コミュニティタクシーの運行	交通事業者からの実績報告	① 0.44回／年 ② 0.10回／年	①乗車機会を増やす取組を引き続き実施する。 ②高齢者の利用しやすさ第一に改善に取り組む。	
▶コミュニティバス利用者1人あたりの運行経費： 942円以下(令和7年度) ▶コミュニティタクシー利用者1人あたりの運行経費： 880円以下(令和7年度)	①コミュニティバスの運行 ②コミュニティタクシーの運行	交通事業者からの実績報告	① 2,340円／人 ② 1,044円／人	①乗車機会を増やす取組を引き続き実施する。 ②高齢者の利用しやすさ第一に改善に取り組む。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。